明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可　（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月八日（日曜日）　第百八十二號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●大暑の農況（續き）

▲水原模範物 （稻）苗の植付は八月十日に始り十五日に終る此間晴天にして空氣の乾燥甚しかりしと雖も植付後五日にして良好色を呈し爾後大暑に至る迄氣候槪して順適且つ日照時間は前年に比して五十一時間餘多く隨て稻の生育前年に比し旺盛にして分根伸長ともに良好莖葉亦剛强にして目下の狀況に於ても病虫害等の虞なく今後幸にして天候順適ならば秋收豐穰なるを得べし（麥）早春には適度の雨量ありて發育可なりしも五月上旬より六月下旬に至る間降雨纔かに三回に止まり槪ね晴天にして乾燥過度也しが爲め多少旱害を被り殊に春蒔麥甚し（大豆）播種後六月下旬迄は氣候乾燥の爲めに生育稍遲緩也しが其後降雨多く生育頗に旺盛と也寧ろ莖葉稍徒長の感也（完）

●七月中京城氣象槪況（京城測候所調査）

本月は滿韓地方の雨期にして全月殆んど降雨を見ざる日なく降水量は昨年に及ばざれども其の日數は遙に昨年を超へ下旬に入り暑氣俄に增勢し盛夏の狀態を呈するに至れり

▲氣壓● 平均七五五二粍は前月より三二粍昨年より三三粍高過して高極は十六日高氣壓が日本海南部へ擴張せしとき七六〇二粍を測り低極は十一日低氣壓西朝鮮灣に接近せしとき七四七、〇粍に達せり而して顯著なる低氣壓通過は四回にして就中六日揚子江に起り黃海を經て韓國を橫斷せしもの及十一日漢口より山東角に猛進し東北に轉向して平壤附近に來りし兩者は一般に風雨甚しく諸川氾濫の所多し

▲風● 平均速度毎秒四、〇米は前月及昨年より優勢にして暴風日數六日は昨年より五日多く烈風に達せし日は十三、四、七日の三日にして最强は十四日南一六七米なり

▲氣温● 平均二四五度は前月より三、七度昨年より〇、九度高度に失し上旬は昨年と大差なく五日低極一五、四度を測り中旬に入り頓に上昇して最高氣温は日々三十度以上を示し加ふるに夜間は槪ね曇天にして氣温の下降を促さず一層暑氣を感じたり然れども高極は二十三日の三一、八度にして昨年より稍劣れり

▲降水量● 合計一六〇、〇粍に蒸氣量と殆んど增減なく前月より六九、一粍多く昨年の約三分一にして最多は十八日三三、七粍を量れり而して十一日より八月二日に至る二十三日間日々多少の降雨ありたるは昨年中に見ざる所なり

▲天氣日數● 降水日數は五日雷一日霧二日昨年より多く快晴一日曇天二日少し

項目	本年	昨年
平均氣壓（粍）	七五一、九	七五一、九
風 平均速度（一秒時米）	四、〇	三、七
風 最多風向	南西	北東
風 最强 速度	一六、七	一二、八
風 最强 方向	南	南東
風 最强 日	十四日	廿九日

氣温 攝氏 平均	二四、五	二三、六
氣温 攝氏 最高	三一、八	三二、九
日	廿三日	廿四日
氣温 攝氏 最低	一五、四	一四、七
日	五日	六日
平均濕度（百分率）	七九	八二
降水（粍） 總計	一六〇、〇	五三〇、三
降水（粍） 一日中最多	三三、七	一四〇、九
日	十八日	廿一日
日照時數（百分率）	四四	四〇
蒸發量總計（粍）	一六一、九	一三五、六
天氣日數 降水	二〇	一五
天氣日數 雷	三	二
天氣日數 霧	二	〇
天氣日數 快晴	〇	
天氣日數 曇天	一八	二〇
天氣日數 暴風	六	一

（新刊紹介）

●婦人世界（八月一日發行第九號）例によりて体裁記事共に完備し總て之れ有益の文字のみ眞に婦人必讀の書也（發行所東京實業之日本社）

●實業世界（八月一日發行八號）活氣縱橫當る可らず澁澤男の余を說破せんとしたる一數師及天下一品名士と記者の快氣焰の如きは最も見るべきもの（發行所東京實業之世界社）

●韓國農商工月報（八月五日發行）漸次体裁記事共に完備し好箇の實業雜誌となれり（發行所東京北品川韓國農商工月報本社）

●貿易（第七號）其名の如く貿易に關する有益の記事多し實業家の參考とすべきもの（發行所東京日本貿易協會）

●韓國經濟月報（五號）財務彙報の附錄として度支部より發行せる經濟上の好資料也



第十八席　桃川燕玉 演

中にも萬里小路大納言は御老体で居らつしやるから「今度關東へ呼下された時には如何なる憂目を見るかも知れぬ、麿が一世の大事玆に出來を致した」と頻りに眞蒼になつて御心配をなされる、さ中山大納言、衆卿の議論を暫くの間兩眼を瞑つて聽いて居らせられましたが、此時御進みに相成つて「扨各位樣先刻より御詮議の趣承はつたるが今日德川家を征伐なさんぞと云ふは以ての外の事、關東より三卿下向の儀を願ひ立てたるなれば、速に、關東へ下向致す、決して各位心配をなさる事はない、縱へ東へ下ればとて、何の恐るべき事かあらん、關白殿下より直ちに天聽に入れ奉つて然るべく、斯く言ふ中山愛親を關東にて名指したることも勿怪の幸、恐れ多くも陛下の御稜威を頭に戴き、勤王を鎧となし、報國を楯として關東へ罷り下り、越中守を始めとして凡そ尊號宣下の御事に就て異存を申し立る輩を相手として一々之を說伏せ、將軍をして其過を改め、謹で朝廷の仰せを遵奉致すやう取計らふ、此儀相叶はずば愛親命は關東に捨て、再び都の土は踏むべからず、何事も愛親一身に引受け關東へ罷り下り、善惡共に各位方へ御迷惑は相懸け申すまじきに依つて、必ずとも御心配御無用である、尤とも何誰なりとも一人愛親に御同道下さるやう、更らに御心配には及ばぬからと、勇氣面に現はれました中山大納言愛親卿、殿中に響き渡る大音にて仰せられました。實に勤王無一無雙の大忠臣、此の中山卿の御言葉に一同悉く勇氣も引き立つて參りまして「然らば大納言の言葉に任かせて」と云ふので評定一決に及んで、中山殿關東下向と云ふことに極まり、早速奏聞に及びました。さ主上には此の旨を御聽き遊ばされ、何んとも御沙汰がございませぬ、暫く御思案あらせられま（すやう）な事に立至つたは朕が不德の致すところ併し關東の專橫捨置くべきにあらず追つて仰せ出さるゝ旨もあらん」と別に何とも御沙汰がございませぬで主上は入御に相成りました、一同の公卿衆其日は退出を致す、扨其夜に相成り主上は頻に今日の事を御考あらせられまする。御附の御公卿方に於ても叡慮の程を畏んで恐れ入つて居られました。時に左右の者を召されまして「當時關東に於て將軍を輔佐致す者は越中守定信と申す者であらう武士ながら和漢の故實に達し如何にも義理明かなる者と承つたが、其方共の中に定信と申者を知つたる者は無か」と云ふ御尋がございました。そこで御附の御方が「先年內裏炎上の砌、越中守定信上洛仕りましたる時面會は致しましたが深く交際を致しませぬから如何なる人物か夫までは存じませぬ」と申上げる、又一人は「私關東へ勅使として下向仕りました時一面識致し其容貌は存じて居りまするが、如何なる人物と云ふ事は深く立入りませぬから存じませぬ」、越中守と申す男は斯樣々々の人物でございますと、只容貌や姿の事は申上げるが、如何なる心の人と云ふ事を知つて居る者はない、傍から羽室中納言と仰せられる御方が進み出で、申上げ奉ります、越中守定信の事に付きまして思ひ出しました事がございます、本年七月の事でございました、岩清水八幡へ聊か宿願がございまして七日參籠を致しました、其節寶殿の御前に白檀弓一張、白羽の征矢一手、無紋の太刀一口を臺に掛けまして供へましたるのを見受けました、是は吉例の時に用ゐまする品でございませぬ、白檀弓白羽の征矢無紋の太刀、何で斯かる忌はしき献納物を致したるか、其納めたる者の名前さへございませぬ、以ての外の事に心得ましたるから岩清水の社僧を招ぎまして篤と相尋ねましたる所、是は奥州白河の城主松平越中守定信と申す者、深き宿願ありと言つて態々代參の使を御社に差上げ、千部の法華經を發施致しましたる願書を社の寶殿に納め、此品々を捧げました、越中守死去致すか、但しは此れより沙汰致し候はゞ、此納め物願書共に燒き捨て下さるやう、それまでは此儘に差置かせらるゝやうにと相賴んで數多の幣帛を奉つたと答へましてございまするが、何と一風變りましたる武士と存じますると」主上之を聽し召されまして「何と申す、白羽の征矢無紋の太刀、左樣なものを八幡の寶前へ捧げるとは仔細ある事ならん、其願書を急ぎ召せ」勅諚でございまするから玆で羽室中納言早速職人へ御沙汰になりました、職人に於ては御厩へ來つて一頭の駿馬を牽き出しヒラリと打跨り、一鞭當てまして早速岩淸水へ馳せ着け、右の願書を御寶殿から申し下して、直ぐ之を懷中して取つて返し、宿直の公卿方を以て之を御前へ奉つたのはもう夜の丑頭でございました。



京城新報

疑心暗鬼を避けよ

在韓日清人の覺悟

安奉線問題に就ては既に再度論議したるが如く、此際清國政府にして曖昧模糊の間に時日を遷延するが如き事あらば日本は自由行動を執るの止むを得ざるに至るべし、清國政府は何を誤解せるか、世界の公論を增進せむとする帝國政府の主張を今尚容れざるのみならず、列國政府の好意的忠告にも傾聽する所なし、玆に於て帝國政府も止むを得ず別項電報の如く自由行動を執ることの最後の通牒を發したり、且帝國政府は列國政府に對して本問題交涉の經過を一兩日中に發表すべしと云ふ、果して然らば本問題の解決も將さに近きにあるべき也。

抑も帝國政府の自由行動とは何ぞや、余輩の解する所を以てすれば、直に安奉線の改築工事に着手することにして若しも清國地方官が武力を以て改築工事に妨害を加ふるも我は斷じて此妨害を排除し工事の進行を計るにありとす、而して安奉線問題以外總ての懸案問題に就ても兎角兩國間に圓滑なる解決を見る能はざるの觀あり、是れ相互の意志が充分に疏通せざるが爲なるべしと雖も兩國將來の爲に甚だ憂ふべき事也とす。

余輩が玆に最も憂ふべき事は在韓日清人間の關係が爾後如何になり行く可きかにあり前に述るが如く帝國政府が安奉線問題に就て自由行動を執るとの事は決して國交を斷絕し或は戰爭抔を爲すとの意味に非ず、然るに蜚語流設盛に起りて稍もすれば日清人間に猜疑の暗雲を以て蔽はんとするに至る是れ甚だ悲むべく厭ふべきこと也、假令安奉線問題若しくは間島其他の問題に就て兩國政府が如何なる解決手段を執るとも、在韓日清國民の上には直接何等の關係なし、是を以て余輩は在韓日清兩國民は過去に於けるが如く、現在は無論將來も我統監政治の下に安全に其營業を營み、兩國人間の商業其他の取引も圓滿に行はるゝを保證するもの也、故に兩國民たるものは徒に蜚語巷說に迷はずして平和に其取引をなさゞる可らず。

惟ふに今日の如き場合に於ては浮說流言の爲に疑心暗鬼を生じ易し、此際に於て兩國民は能く平靜なる態度を保ち各其業務に安んせざる可らず、韓人中には或は煽動的に騷ぎ廻る輩もなきにあらざるべし、素より彼等の流言に迷はさるゝものはなかるべしと雖も、須く大局を達觀して相互の取引に支障するが如きことなき樣に注意せざる可らず、そも安奉線問題の如きは兩國の平和を破るが如き問題に非ず、帝國政府の誠意は早晩清國政府の認識する所となるや必せり、是故に在韓の日清兩國民は此等の事に顧慮する所なく業務に安んずべし、兩國の識者は能く其誤解を氷釋せしむるに努むる所あらざる可らず。

東京電報

▲最後の決答催告 伊集院公使は本日限り安奉線問題に對する決答を催告す、列國の意嚮皆我の主張正當にして清國の不誠實を認むる旨の回答あり愈六日より斷然改築工事の着手に決せり(六日午後發)

▲東京銀座の火災 唯今銀座天賞堂附近より失火したるが大坂大火後の事とて人心恟々として一時は非常の混雜を極めたるも幸にして大事に至らざりき(六日午後着)

▲安奉問題顚末公表 吾が政府は安奉線問題に對する交涉の顚末を詳說し一兩日中に世界に公表すべし(同上)

▲安奉線の起工斷行 安奉線工事は清國の回答如何に頓着なく直に起工すべく閣議決定したり(同上)

▲一切の懸案後廻 吾政府は安奉線問題以外の日清間懸案は總べて是を別に交涉するに決定したり(同上)

▲日清公涉斷絕す 吾政府は本日清國政府へ對し最後の通牒を發して安奉線問題に付き自由行動を取るべき旨聲明したり(七日午前至急報)

▲韓銀委員選行惱 韓國銀行創立委員の人撰は種々異議起れる爲め十五、十六日頃ならでは發表出來ざるべし(七日午前發)

▲安奉線工事着手 伊集院公使は安奉問題に對する政府の訓令を奉じ六日愈清政府に向ひて工事に着手すとの最後の通告をなせり又一方小村外相は伊集院公使よりの通告に接し中村總裁より國澤副總裁に命せしめ安奉全線の起工に從事せしめたり(七日着)

▲渡米實業家人選 渡米實業家は東京十九名內婦人三名にして大坂より八名京都、橫濱、神戶、名古屋より各三名宛選定を了れり(同上)

北京電報

▲駐清公使の通告 伊集院公使は昨六日政府の訓令に依り世界交通の利使の爲め條約上の權利に基き清國の承認を待たず安奉線の改築工事を實行する旨外部に通告したり(七日着)

▲清國政府の頑冥 我が最後の通告に對し清國政府は飽迄頑冥の態度を持し居れり到底一戰を免れざるべし(七日午後三時發)

雜報

●本年の煙草概況

本年の烟草收穫は春來の旱天水不足の爲め減收なるべし例年にては其植付けの早きものは昨今既に一番葉採集の時期なれ共本年は昨今僅に移植に着手するものさへある位なり古來韓人の烟草栽培法は極めて幼稚にして其耕作反別の如きも單に自宅飲料に止まり從ふて當季時候の良否に伴ふて耕作の多寡を制する習慣を有し且つ種々複雜なる事情の下に正確なる統計數を得難きも大約年々三百萬貫より五百萬貫を計上し得べし尙ほ煙草葉採集も一莖三期に摘取るの習慣あり普通第一期は八月中旬第二期は九月中旬第三期は十月末なりとす故に其品質に就ては兎に角數量に於ては唯だ第一期或は第二期採葉時期を以て收穫を豫想すべからず因に云ふ韓貨の惡烈にして一種の臭氣を有するは一に空氣の乾燥なると二は人糞肥料の使用に原因するならん尙各道中比較的多額の產地は平安の成川方面黃海道の谷山全羅道金州の周圍地江原道密陽方面等なりと

●韓國銀行の覺書內容

韓國銀行設立に就き第一銀行と韓國政府との間には曩きに荒井次官の東上せし際澁澤頭取と同次官との間に覺書の交換はせしを爲したる由にて其覺書は近々の官報にて發表せらるゝ筈なるが今其內容を洩れ聞くに第一銀行は韓國支店の權利義務一切を韓國銀行に引繼くこと第一銀行が韓國に於ける今後の營業は二三の支店出張所を存置すること第一銀行の職員は之れを韓國銀行に引繼ぐこと等なりと

●第一銀行の定時總會

豫報の如く第一銀行にては三日午后一時半より東京銀行集會所に於て定時總會を開き澁澤頭取會長席に着き各種の報告あり後左の利益分配案を附議したり

一金九十六万九千五十五圓二十九錢	當半季純益金
一金五十三萬六千七十五圓五十二錢	前半季繰越金
合計金百五十萬五千百二十圓八十一錢	
內	
金四万八千四百五十圓	役員賞與金及行員恩給基金
金二十萬圓	積立金
金十萬圓	韓國支店積立金
金五十萬圓	配當 一株に付金二圓五十錢即年一割
金五十五萬六千六百八十圓八十一錢	後季繰込金

右は滿場一致の承認を得て可決し次で臨時總會を開き監査役の改選を行ひたるに土岐、橫尾高次郎兩氏重任に決し定款に附則設定の件原案通り可決して直に散會したりと

●水產組合の獎勵

朝鮮海水產組合にては韓國漁業法の實施と同時に獨り日本よりの出漁者のみならず韓國移住漁民をも取締ることゝなり從つて韓國の漁業法は普ねく之れを周知せしむるの必要あるを以つて漁業獎勵に關する諸般の事項を印刷物として廣く關係者に分布したりと

●夏期講習會閉會

開會中の官公立學校夏期講習會は五日限り閉會し七日師範學校に於て閉會式を擧行したり列席者六十餘名に達し大臣次官の演說あり盛會なりしと

●私立學校の認可

本年三月より私立學校認可を申請せし出願件數は七月下旬迄に二千五十六校なるが學部にては之が取調の上近々認可を與ふる由なり

●郡守の懲戒處分

水原郡守金寬鉉は職務執行上怠慢の廉あり譴責せられ又懷德郡主姜元魚は職務曠廢の廉を以て減俸一ヶ月に處せられたりと

●京城の衛生狀態

京城內外に於ける本年の衛生狀態は人爲的施行の進むに從ひ漸次良好に向ひつゝあるが流行病に於て昨上半期の患者百七十五人同死亡四十に對し本年は同期間に於て患者百六十七同死亡四十五人なるが其內痘瘡患者は兩年に涉りて九割弱を示す殘餘は少數の赤痢腸窒扶斯ヂブテリヤ等なり尙統計上に於て昨本兩年は格別の差違を發見せざるも實際は昨年にありては調査上不備の點多く實數を擧るに困難なりしによるなり故に實際の比較は確に本年の同狀態の良好なるを疑はず畢竟するに衛生法の施行に原くものにして主として水道給水除穢の效果たるに歸すべし尙は從來飲料として盛に使用せし不良井の閉鎖を命せしもの昨年來六十七に上る、其內一種の事情によりて閉せしもの少數を含む)殊に糞便汲が一段衛生上に好兆を來したるもの著しき事實なりとす因に上叙流行病は韓國にありては季候とは關係薄く殆ど四時共通なりといふ

●土地調查事務の準備

韓國土地調查事業は頗る大規模の計畫にして之が準備の如きも亦一朝一夕の能くする處にあらず而して目下度支部財產整理局に於て頻りに其準備を急ぎつゝあるが何分にも一千萬圓の費額を要する献立なれば研究の範圍頗る汎く着手期も從つて之を豫知し得ざる由なり今其準備に關する主なる事項を聞くに舊慣の調査を始め丈量に關する算法の規定或は又諸法規の制定等にして此獻立をなしたる上官制の發布し然る后實施に取掛るべしといふ

●司法機關の引繼方針

司法委任に對する吾が政府の實行方針は未だ具體的に之を聞くを得ざるも要するに現在官中の司法官は其儘是を引繼ぎ亦廳舍建物は無償にて吾裁判所に使用を承諾せしめる事となるべし更に又韓政府にて既に計畫中に屬する裁判所增設の件は無論我政府にても必要を認め居る事なれば着々進捗に努むべしと云ふ

●間島獸疫の取締勵行

咸鏡道方面に於いて一時牛疫の甚だしく流行したるは其原因の多くは間島地方より輸入したる生牛の疫を移したるに原因するものなるを以て其筋にては先頃來間島に獸醫を特派し嚴重の取締を勵行しつゝありと

●滿洲大豆歐洲輸出

先日入京したる三井物產會社の小田柿氏の語る所に依れば滿洲大豆は近來歐洲への輸出非常の盛況を呈するに至りし由にて之れをボートサイドまで運び夫れより各方面に配布せらるゝ由なるが歐洲へは之れより油を絞り石鹼の材料と爲し其粕は家畜の食料に供する由にて歐洲人は絞油の上に於て東洋人より約二倍の量を得るとのことなるが三井物產は爲めに滿洲貿易に於て多大の利益を得現に休航中の汽船等は態々滿洲へ來航して之れが移出を爲しつゝありと

●官營政策の一變

韓政府の產業方針は大は鹽、煙草の類より小は煉瓦の製造に至るまで總べて官營主義を取りつゝあり此方針は現在の如き經濟程度幼稚なる國柄にては不得已政策なるが如きも日韓關係の現狀より是を見れば如斯は實に偏狹極まる次第にして現に內地資本家は孰れも有利の企業地を求めつゝあるにあらずや然れば韓國の產業は此際擧げて內地資本家の放資に委するを以て最も機宜に適せるものなりとの意見當局者の間に唱導せられ居る由なれば早晩官營政策は民營に移さるゝに至るべしといふ

●政府の水利計畫

韓國の國本は無論農業にあるも水利の便を缺ける爲め萎微不振を極め居るは何人も是を認むる處なりとす是を以て韓國政府當局は先づ全羅南道に大規模の灌漑工事を企劃し進むで各道に及ぼす方針なる由而して第一期計畫の地域を調査を了へ來年度の豫算に計上さるべしと云ふ

●益山地方の水利計畫

群山の藤井寬太郎氏は全州以南一萬町步に亘る水田灌漑の爲め水利組合を設立し一大貯水池を築造する計畫に就き當局者と交涉すべく目下來京中なるが同地域內に在る益山郡の腰橋堤は高麗時代に築かれたる一大貯水池にして其後全く荒廢に歸せるも尙ほ五、六百町步の面積ありて其遺跡顯然たるが

●村田永濱兩氏送別會

在京文武高等官の主催に係る村田中將永濱前關稅總長兩氏の送別會は一昨六日午後七時より花月樓に於て開會されたり來會者は統監府參與官若林總監、軍人側よりは明石參謀長其他文武高等官百余名先づ石塚總務長官は發起者一同を代表して村田將軍の昇任轉補を祝し又永濱氏が關稅總長を辭して民間實業界に入るにつき前途の祝福を祈る旨の挨拶あり村田永濱兩氏之に答へ夫れより餘興として藝妓芝居などあり午後十一時散會したりと

●小學校長會議の模樣

在韓日本人小學校長會議は引續き第三日を第二小學校に於て六日午前八時三十分開會せしが出席者は校長四十二名と統監府兒玉書記官、廣田屬托、吉田囑等なるが兒玉書記官の韓國に於ける日本兒童の精神教育に就ての提出案を協議し尙は殘餘の事項に就き議了したり而して幹事滿期に就き選擧の結果第二小學校長橫山彌三氏(當選し終つて兒玉書記官の午餐の饗應ありて散會せりと

●永濱前總長叙勳內議

今回職を辭して歸國せらるべき永濱盛三氏は財政顧問設置の當初より目賀田顧問の下に財政監查官として赴任以來韓國財政殊に關稅行政上に貢獻する處甚だ多きを以て韓國政府は特に其功績を表する爲め同氏を勳一等に叙し八卦章を賜ふべき旨內議ありと

●日韓瓦斯會社の近況

龍山に於ける同民團管轄內の瓦斯管埋設延長は目下千二百六十七間余にして電車は引渡後直ちに十五哩道路に布設を始め本年中に大半を竣成せしむる筈尙岡崎專務は五日東上の筈なりしも社務繁劇の爲め十三日に延期せり

●大久保軍司令官歸着

南巡中の大久保軍司令官は七日大邱發太田部隊を視、八日水原部隊を視て同日午後八時三十分南大門に着する旨電報ありたる由

●本田摸範場長の上京

水原勸業摸範場長農學博士本田幸介氏は學友故酒匂博士の財產を整理するため去る六日東京に向け出發したり

●米國視察團入京 米國視察團員のアストン氏外五名は去る五日仁川より入京してアスターホテルに投宿したりといふ

●俵學部次官招宴 俵學部次官は來る十一日午後七時より西小門內なる新官舍に日韓高等官連を招待し宴會を催す由なり

●永濱氏官衙歷訪 元關稅總長の永濱盛三氏は今八日歸東の筈に付き昨日各官衙を歷訪して袂別の辭を陳べたり

●小田柿氏の歸東 三井物產參事長にして前京城支店長たりし小田柿捨次郎氏は豫て入京中の處去る七日歸東したりと

●露國領事の入京 曩に長崎に向つて旅行したる仁川露國領事オーゲンシン氏は去る五日着京し露國總領事館に入れりと

●佛國將校の入京 仁川碇泊中の佛國軍艦將校一名四日仁川より入京西部皇華坊貞洞佛國人ロンドン氏を訪ねて下仁せり

●百瀨教監の死去 驪州普通學校教監百瀨重四郎氏は去る六日死去せるを以て學部にては家族慰問の爲山口主事を派遣せり

●新義州議員增加 新義州の居留民團議員は今回十二名に增加せられたりと

●平壤市民同志會 平壤民團議員中市民同志會なるものを組織せんとて協議中の由

●內部法令審查會 內部にては昨七日午前中法令の審查會を開きたりと云へり

●熊谷民長の歸任 民團事務視察の爲め群山へ出張中の熊谷民長は今八日歸京の筈

●三宅博士の出發 來京中の工學博士三宅驥一氏は去る六日退京歸朝の途に就けり

●檢事新任 左の通任命ありたり

任檢事叙奏任官三等 中川一二

●本日の集會

▲京城基督教會 日之出町の同會にては今日曜日午前九時より日曜學校を開き同十時より禮拜說教午後八時より傳道說教あり

▲メソジスト教 旭町名古屋城の同教會にては近來每朝六時より七時迄集會あれども今日曜は午前九時より聖書研究同十時より禮拜說教(木原牧師の永生)夕八時より感話並に說教(木原牧師の夏の福音)ありと

▲日本基督教會 旭町四丁目の同會にては本日左の通りの演說ある筈なり

一、樂天的生活 山縣セウルプレス主筆

一、イエスの救濟觀 石原同會牧師

公人私人

▲岩井辰雄(東京府辯護士) 六日釜山へ

▲岡田時太郎(關東都督技師) 六日仁川へ

▲田中讓(石川島造船所技師) 六日歸東

▲久次米邦藏(園藝模範場長) 六日歸任す

近事片々

▲安奉線問題は愈々日本は自由行動を取るべき最後の通牒を發したりと是れ當然也

▲列國の好意的忠告も頑冥なる清國には何の甲斐もなかりしか無緣の衆生度し難し

▲事玆に至れば我は權利を遂行して改築に着手するのみ今更に何の憂慮かあらんや

▲安奉沿線清國守備兵巡警等何となく殺氣を含むと斯るコケ威しは何の役に立たず

▲一說には安奉線問題に自由行動を取るも間島問題は一歩を讓らんと併し信じ難し

▲間島問題小なりと雖も國權の消長に關す宜しく正々堂々と我主張を貫撤すべき也

▲中村滿鐵總裁は辭表を懷にして上京、安奉問題に就て强硬に當路者に說きたりき

▲其決心ありて始て素志を貫徹すべし我政府の決心も或は幾分之に動されしならむ

▲大久保軍司令官地方巡視より將さに歸らんとす巡視の結果必ずや得る所多からむ

▲村田中將築城部長に榮轉不日東上せらるべし溫雅なる中將の去るは甚だ惜むべし

▲中將の韓國に在るや其効蹟の表面に現はれしもの少きも帷幕の效蹟は頗る多大也

▲後任石井少將は未だ其人となりを知ざるも後進有爲の軍人ならむ佛語に堪能也と

▲曾禰統監の病氣頃者余程快方に赴かれ朝夕は官邸附近を散步せらるゝに至れりと

▲此暑さにも不拘快方に向はせられたるは喜ぶべき事也極東多事の今日攝養專一也

▲桂首相西園寺總裁の後を逐ふて輕井澤に赴き密談數時にして直に歸京せりと云ふ

▲桂侯の拜み倒し主義は智は乃ち智なりと雖も餘りに見識なく陋たるを到底免れず

▲四十三年度の豫算に就て政友會の援助を得んが爲也と何ぞ非立憲的行爲も甚だし

▲妥協は桂侯の信條か何事も公然と切り出すを避くるが如きは眞に立憲政治を毒す

▲桑港クロニクル大阪の火災に就き速に先年桑港火災の報恩せよと同情もて論せり

▲桑港火災に最先に救援せられしは日本也宜敷大阪火災に義捐せよと市民に告しと

東京電報

▲韓銀創立委員 韓國銀行

▲清國兵の暴慢 安奉線に於ける清國兵の暴慢は殆ど極點に達し將さ

省は本日安奉線問題の經過に關し交涉顚末を詳記したる宣言書を發表したり(午後三時五十分發)

●輸出牛檢疫所の新設 南韓地方より日本に輸出する生牛は從來釜

難を極めたることなるが農商工部にては來る二十日より釜山に檢疫所を新設し檢疫の

額は地稅に於て豫定額九百六十一萬七千

百五十九圓十二錢收入額四百三十九萬四千

五百九十四圓四十二錢(三釐)收入額十萬三千

七百七十七圓七十六錢にして未收入額三十

（月曜日休刊）



●韓國上流の風儀（一）

嗚呼實に淫蕩の著者[illegible]鶴陽は、其巻頭に掲げたる當時新橋の流行妓清香、市村家橘（今の羽左衛門）伊藤博文の三個寫眞に書して曰く、是れ好個の標本、而も此寫眞は新橋の勸工場に於て賣る、博文の寫眞は一枚二錢五厘、家橘は三錢、梅香の寫眞最も高く五錢也、讀者は先づ此書を讀むに先だつて此三個の寫眞に向て唾棄すべしと、面して本文に入り冒頭書して曰く『日の本は岩戸神樂の始めより女ならでは夜の開けぬ國』以下古今の例に徴して滔々として淫靡の風を罵倒し盡せるも、當時記者は之を以て[illegible]苟も君子國たる日本を[illegible]、爾來世態の風潮を見るに淫蕩の風は益々熾にして、殊に[illegible]く壞敗して聞くさへ[illegible]り、良人は花柳の街に[illegible]、[illegible]に涙の乾くときなく[illegible]は家業忙はしく在宅[illegible]は深夜俳優を招いて[illegible]に忍びざる醜行をなし[illegible]に出沒す、嗚呼々々[illegible]過せば社會の風紀何[illegible]思へば寒心に堪へぬ[illegible]る我宮民の風紀如何[illegible]の常として尚更に甚だ[illegible]す、更に韓國人の社會[illegible]淫蕩の風は日の本より[illegible]男らぬイヤ更に一層烈[illegible]る、さらば人類の[illegible]思はる[illegible]する所には必ず此事の[illegible]淫蕩の風盛なるを見て徒に切歯扼腕するは野暮の骨頂たるべきか、寧ろ成行に任せて關せず焉ときめ込むべきか、斯く思ひ來れば其道に達者なるものは人類中の優等者なるべきか、記者は殆ど其結論を得るに苦む、頭腦を痛めて之を考るよりも寧ろ面白可笑しく此道の出來事を見聞のまゝ書くの優れるに若かずか、四角なる議論は斯道には大の禁物ぞと聞く、然らばズット砕けて先づ京城に於ける日韓人上流の面影を描し出して讀者の眼前に披櫪することゝすべし

初に邦人官吏の狀態を寫すが順當なれども彼等の操行は餘りに能く社會に知られ居る故に韓人大官連の内幕を先きにすべし、一々其人名を掲げて書くことは些と出來兼る讀者幸に之を諒せよ

●狂言の咽喉突き

▲夫の無情を怨みて　明治町二丁目百廿九番戸田中守之助内縁の妻辻かめの（三二）は一昨六日午後四時頃自宅二階六疊の間に於て西洋剃刀を以て我と我咽喉部を突きたるも頗る輕傷にして一寸程を擦過したるのみにて出血だにせざりしが近所の者が聞付けて明治町派出所に屆出でしかば村岡巡査出張して取調べたるに夫守之助は近來甚だしくかめのを厭ひ離縁せんとし殊更遊廓抔に居續けして歸宅せず現に去る四日家出せし儘歸宅せざるにぞ斯くは狂言の自殺を計りたる次第なりと

●不景氣知らずの店員

▲月々の遊蕩費數百圓　本町六丁目某商會の店員上田とか中田とか云へる男は同商會主の親戚とかに當るを鼻に掛け先輩のあるにも拘はらず獨り出洒張つて店務を所理し居れるが甚だしく僭越にも此男に限りて店務を所理し居れるが其れはまだ〳〵宜敷き事なれども茲に不思議なるは此男僅に數十圓の給料を得るのみなるにも不拘如何なる金儲けの道を覺へ居るにや日頭清華亭に足繁く通ひ同亭の梅子拍子を對手に豪遊を極め其費消高は月々四五百圓にも上り居れるが之を知りたる客氣性の女房は何がなヒステリーを起し一家の紛紜絶へざるにぞ○田も之れには殆ど閉口し此頃では夜の外出は一切打ち止め毎日〳〵待合出入を爲し相變らず梅子を對手に豪遊を極め居れりと、は不景氣知らずで結構なりと羨ましそうな女筆の投書あり

●圓助君の落膽

仁川は敷島遊廓日進樓に圓助と云ふ義太女郎とて隨分名うての妓にして情夫に某銀行とかの○谷と云ふ好い人のあることも粋者間には知れ渡り居れるが此の頃如何したものか○谷は廸の道を切つた如く日進樓には足ぶみをせぬに圓助は心配で堪まらず○谷さんは一体什麼にして居るだらうと寢言にまで言ふて居る一方○谷は其麼ことには更に頓着なく此頃は朝日樓信夫がもとに通ひ居れるが再昨夜のこと圓助が二階にありて表を眺め居る時○谷に能く似た男が日進樓の前を素通りなし何れへか登樓したりしかば圓助の無念やる方なく翌朝午前四時頃より門の前に立番して○谷の歸りを待ち受け胸倉捉りて責めんものと小政、小榮なんどの應援隊を引き連れて待ち構へ中に午前五時不圖門前を見れば○谷らしき姿の見ゆるにぞ圓助はさては裏から逃げられたかと自團駄踏み聲を限りに呼べど叫べど聞かばこそ○谷の姿は何時しか見へぬ樣になりしかば圓助は前の交番所に訴ることもならずすご〳〵應援隊に誘はれて己が部屋に歸りたりと最初より見てありしさる遊野郎の談を聞くが儘に書くの如し

●泥棒と間違らる

龍山若松町松本方稻田宇三郎（三七）は一昨六日午后四時一名の韓人が門先に彷徨なし居るを見て窃盜と間違へ下駄を以て之を毆打し微傷を負はしめたりと

●待合かしくの盜難

南山町二丁目の待合かしくへ一昨夜三時より五時頃迄の間に於て盜賊忍入り婦人連の衣類殆ど全部を引浚へ逃亡したるが其價格は非常に多かるべしと

●戸締が怠つて盜難

龍山榮町三十六番戸日用雜貨商中島元次方に於ては去る六日午後三時より五時迄の間に於て自宅倉庫内の白米五斗入一俵（代七圓廿五錢）を盜難に罹りたるが戸締を怠りし爲めなりと

●腐敗せるラムネ

曙町九十五番戸平民朝永儀市の販賣に係る「ラムネ」は沈澱物多く既に腐敗に歸し居たる爲め發賣を禁止せられたり暑氣と共に此種の飲料水多ければ飲用者は注意すべきなり

●大阪火災と慈善演劇

▲彰義隊一座の篤志　目下歌舞伎座に興行中の新派彰義隊一座は當地の諸團体並に有志諸氏の贊助を得て近々慈善演劇を興行し其揚り高全部を大坂大火の避災民に寄贈する筈なりと云ふ

●劇場騷せの公判

去月四日中檢番藝妓芝居の際同取締人井門榮太郎氏を毆打した玉松葉亭の料理人里吉に對する公判は昨七日當地理事廳に於て公判開廷あり高橋辯護士の辯護にて辯論ありたるが裁判言渡は來る十日なりと

▲相談の相談

●紳士遊興振　右は筆者病氣の爲め本日休載

●烟草を盜まる

龍山大島町十四番戸の三淵本いねは昨日午前三時より四時迄の間に於て自宅店の間にありし烟草（代六圓四十八錢を盜まる

●新町遊廓の檢梅

去る六日新町遊廓に於ては檢梅の結果第一樓の九重高島屋の千代吉南山樓の衣重の三名は入院と極まる

●不正なる飲料物

長谷川町一丁目氷小賣業前山ツケの販賣に係る蜜柑水二本レモン水一本、リンゴ水五本は何れも腐敗せるを以て抛棄を命せらる

●夕霧拍子の鞍替へ

當地新町第一樓支居の夕霧拍子は昨日龍山梅月樓に鞍替へしたり此旨譲親類筋へ

●朝汐拍子の返り咲

元敷島深川樓の朝汐事菅原ちとせは同廓第一朝日樓へ三年三百圓にて抱へられ小萬と稱して現はる

●待合この花の發展

當地南山町二丁目待合この花に於ては豫て增築中の處近々落成に付增築落成披露として破格の勉強をなす由因に同家は庭園廣く客室も多く一日の淸遊に最も適當せりと云ふ

俳優評判記（四）

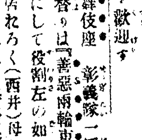
きみ子

之れも彰義隊では甲部に居る河野明治と云へるは先年愛澤一座が當地に來た時から一座して居る男で同座では古顔、方だが妙な役を取る男で娘役や端敵などを殆ど專門とし居る臺辭は深刻なる方だから役に依ると女形となつた方が成功する「不如歸」の浪子杯は慥かに成功の方であつた、併し成効した勢か何をやつても浪子になつて仕舞ふ逹者な役者なれど女形としては未だ修業が足りない、是れを以て見ても女形の六ヶ敷き事が判かる、荒事と女形とを兩刀にやる杯は本人の爲め不得策だ評者は女形の少なき今日切に專門的修養を希望するのである

〔食道樂〕

●江戸川●　鰻を表看板に同家なれば蒲燒、丼、何んでも不味からう筈がない、座敷も清潔に、風通しも比較的善い方である、色氣の無い所最も吾意を得て居る、とまで丈け讀んで自惚れる可らず、女中は面のノッペリした方がれ麗とか云ふので淺草の奥山から引つ張つて來た樣な女が二人居るが田舍者だけに口の利き方も知らぬ、已れの家の料理番の事を客の前で板場さんが〳〵と行る七日の夜などは十一時にもならないのに板場さんがモウれ歸りになりましたから明日でなければ蒲燒も何も出來ませぬと云つたがまア人の爲めにならない土百姓だ折角の主人の愛嬌も打ち壞しだ（ぼく投）

△此の種の投書を歡迎す

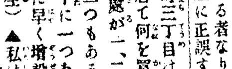


演藝

▲歌舞伎座●●●彰義隊一派本日の替りは『善惡兩輪車』全七場にして役割左の如し

仲居れろく（西井）母親れゆき、支那人慶泉（桂木）妹た梅（河野）太田録造、角村、洋ハジョンテーイ（玉川）娼妓政鶴、代言人慾野　中村）警部松野明（大和）幇間卯の丸（間宮）若月憲一（松村）付馬儀一（小谷）ビャホール女中れきく（小神）幇間いの丸（天草）牛淵寅太（愛澤）田貞二郎（三島　錦織誠二郎（美崎）町田慶三（篠崎）ビャホール女中れよさ（仁科）船頭與一（有村）幇間時丸（木下）

●正誤●　去る三日發行の本紙大和町姫野正一方云々の記事ありしが右は壽町二丁目合澤源次郎宅に下宿せる者なりと關係者より申込みありたれば玆に正誤す



◀平民文庫▶

▲旭町三丁目は商家が能く揃つて居て何を買ふにも不便はない、處が一、二丁目は鍋島邸下に一つもあるに三丁目に一つあるだけで頗る不便だ早く增設が願ひ度い（待衆生）

▲私は當地新町某樓の娼妓ですが身の上に付て必用がありますから本籍地東京麻布區戸籍役場へ手數料及送附料さして十三錢の切手を送りしに（但し戸籍謄本入用）六日同役場より右謄本送り越せしに切手未納の爲め金六錢を取られました切手にアラビヤが少ない爲でしようか役場の不都合で

▲京城の商店にも女店員を見る樣になつた、ある晩○屋へ行つたら例の女店員とやらが丸ポチャ顔で客を尻目に見て碌々應接もせなかつた實に無禮千萬だ主人公少し注意し玉へ（實驗生）▲梅森蓮薰君よ君は美人め面皮一重を剝かば常人と異なる處なしと云ひしが更に一歩を進めて面皮を剝がすとも常人と異なる處なしと云ひ得ざるにや（はの字）▲本町四丁目の菓子屋の小娘さんはイッ見ても居眠りして居る（通行生）▲江戸生よ君の言ふ通りだ僕も先日浴衣地を一反買ひに行たら上の方より睨み付けるから買はないで歸つて來た今少し主人公注意しては如何です（同意生）

●●せうか（信侍）▲龍山には大阪大相撲が來るそうだが京城にも一つ奮發して東京大相撲を請けて遣る男はないものかしら（角狂生）▲本町七丁目の下駄屋の娘さんは隨分問題になる人ですね、是れも出歯龜連の多い勢でせうねー（呆れ太）▲警察の取締が行屆いて大分淫賣婦が外出せん樣になつたがまだ民團役所前の角には五軒茶屋の淫賣が出しや張つて歌舞伎座歸りの客を捕へようとして居る（被害者）▲地獄谷山陽亭のれはるは此程廢業したが彼れは梅毒の爲め一足は腐爛して用に堪へざる位ひなりと（紙將）

外務省宣言發表

外務[illegible]

▲韓太子の小樽着　韓國皇太子は本日函館より小樽に着、同地山要吉邸に投宿せられたるが同所に於る奉送迎盛なり（同上）

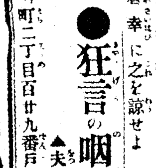
[illegible]山迎ゝ酒等より積み出したるものにして[illegible]調上陸の際は筋の檢疫を受け此所に初めて牛疫を發見し當業者に於ても[illegible]上甚だ困[illegible]實施をなす筈なりと

●地税及戸税の徵收額

長筋の調査に係る六月末現計地、戸税徵收額は[illegible]二百三十一圓三十二錢四厘にして未收入額は五百二十一萬六千二百八十七圓四十[illegible]に戸税に於て調定額四十九万二千八百八十八圓十[illegible]四六十六錢三厘なりと

●配達出桝

午後八時

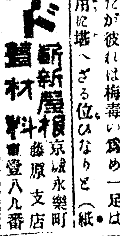






天氣豫報（自六日午後六時至七日午後六時）
北東の風晴後曇
五日（華氏）
最高溫度　九四、一
最低溫度　七二、四





株式會社第一銀行第廿六期營業報告

負債に屬する分

資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金	三、九〇〇、〇〇〇・〇〇〇
韓國支店積立金	六〇〇、〇〇〇・〇〇〇
築造費積立金	二〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸預金	五四、六七二、二一一・六五
定期預金	二一、四七八、九二八・八四
當座預金	二七、四〇〇、〇三三・五二
韓國政府國庫預金	一七七、七二七・七〇
諸預金	五、六一五、五二一・五九
什拂送金手形	七八〇、五三三・七六
借入金	五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
銀行券發行高	一〇、〇五〇、一〇〇・〇〇〇
他店より借	一、五七四、三三〇・三五
未拂配當金	七、六〇六・九〇
前半季繰越金	五三六、〇七九・五二
當半季純益金	九六九、〇五五・二九
合計	八三、七九〇、九三三・四七

資産に屬する分

貸出金	五五、一〇八、一〇七・三六
定期貸	五、三三一、七二一・七五
當座貸越	五、二七九、七三五・三五
割引手形	三三、三六六、八三九、六四
韓國政府貸上金	一二、一一二九、八〇九・六二
國債其他有價證券	一四、四六六、三三七・八九
他店へ貸	一、〇〇二、七八五・六五
地所、建物、什器	一、八八四、〇九六・九五
新築費	三七一、四八六・五五
地金銀	一一一、七五九・九四
預ケ金	八二〇、九三二・六一
金銀有高	一〇、〇二四、四二六・五二
合計	八三、七九〇、九三三・四七

利益金勘定

當半季純益金	九六九、〇五五・二九
前半季繰越金	五三六、〇七五・五二
合計	一、五〇五、一三〇・八一
役員賞與金	四八、四五〇・〇〇〇
積立金	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
韓國支店積立金	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇
配當金（年一割）	五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
後半季繰込金	五五六、六八〇・八一

明治四十二年八月
東京市日本橋區兜町一番地
株式會社第一銀行
頭取男爵　澁澤榮一
取締役　三井八郎次郎
同　佐々木勇之助
同　熊谷辰太郎
同　日下義雄
同　市原盛宏
監査役　土岐僙
同　尾高次郎

前記の各項調査を遂げ其正確なるを保證候也

追て監査役任期滿了の處土岐僙尾高次郎再選重任せり

第五期（隆熙三年上半期）決算報告

貸借對照表

負債之部

政府貸下金	三三九、二二〇・〇〇〇
貨幣整理貸下金	二、六〇〇・〇〇〇
農工債券發行額	二五〇、〇〇〇・〇〇〇
支拂未完農工債券利息	四、三二〇・〇〇〇
資本金	一九〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金	四、五〇〇・〇〇〇
配當積立金	八四九・八五〇
支拂未完配當金	[illegible]
定期預金	七九、九七七・[illegible]
當座預金	二五、三七二・八四〇
小額預金	二三七、七〇三・一[illegible]
預金手形	三、三五一・五〇[illegible]
別段預金	一九、六一一・七五〇
支拂送金爲替手形	一六、〇一〇・[illegible]
借入金	六一〇、〇〇〇・〇〇〇
他店より借	一一、八九八・八七〇
中央金庫	一八、四〇三・三〇〇
貨幣整理資金	三五、六三八・二〇〇
前期繰越金	一七、〇四六・五一〇
當期純益金	九、五二〇・七五[illegible]
合計	二、六四二、六五〇・五八六

資産之部

拂込未完資本金	一三五、六五〇・〇〇〇
年賦償還貸付金	一、九七、六九一・三四〇
定期償還貸付金	四五、八六〇・[illegible]
割引手形	三三九、二二九・[illegible]
貸付金	三三、四一一・[illegible]
執物爲替手形	九、六六[illegible]
當座貸越	一三、七二〇・[illegible]
假出金	一五五、[illegible]
公債證券	一二、七五〇・[illegible]
株式	一二〇、[illegible]
他店へ貸	二六、七九〇・[illegible]
未決算勘定	三、九二七・[illegible]
地所建物	三九、九二八・[illegible]
什器	[illegible]
典執物流込物件	[illegible]
收入印紙	[illegible]
手形用紙	[illegible]
保管有價證券	[illegible]
金銀有高	七七、八一〇・[illegible]
合計	二、六四二、六五〇・五八六

損益勘定

金八萬四千八百五十三圓六十五錢五厘	當期純益金
金一千七百十四圓六十五錢一厘	前期繰越金
合計金八萬六千五百六十八圓三十錢六厘	
內金七万五千三百三十三圓五十八錢	當期總損金
差引金一萬一千二百三十四圓七十二錢六厘	當期純益金

此配當計算左の如し

金二千圓	積立金
金六百圓	配當積立金
金四千七百十三圓（年一割二分）配當	賞與金
金二千八百五十一圓七十二錢六厘	後期繰越金

右之如し

隆熙三年六月三十日

株式會社漢湖農工銀行

理事銀行長　白完爀
理事　洪肯燮
同　李鴻謨
同　李健赫
同　孫海聰
同　陰在鼎
同　李顯周
同　徐基文
同　朴東煥
同　尹敬重
支配人　久能三省

前記の各項調査を了し其正確なることを保證す

監事　尹晶錫
同　白寅基
同　金時鉉

監事任期滿了の處改選の結果金時鉉然再任し金用集[illegible]新任せり

제182호 1909. 8. 8.

各種 洗濯石鹼 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●英文代書 通譯聽聞 本町一の七五中村

●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店裏武田質店(四一〇)

●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通ず不問職業被雇たし氏名在社(四一三)

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社(四一二)

●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歳市内相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)

●下女入用 年齡三十歳より四十歳迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社(四一七)

●被雇たし 月俸廿五圓以上を望む通信事務韓語飜譯中等教育年廿四不問職業 氏名在社(四一八)

賣藥行商人數名募集 希望者は本人直接來談あれ 明治町三の一五七 松田藥房

物件部

●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一一)

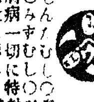
●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊さ外四間二階二間家賃面談 氏名在社(四一五)

廣告

統監府御用
宮内府御用
軸物、表裝、金銀屛風、額面、襖、壁張、天井張、雨戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式

表具 建具 商 石川辰次郎 京城隈町(電話二一八七番)

東京產婆學校卒業
產婆 莊野キヌ
龍山十五間道路 鐵道官舍十六號一



登錄商標

外用(すりこみ) 塗擦(ぬりくすり) 治癢薬(ちそうやく)

最大瓶 一圓二十錢
大瓶 六十錢
中瓶 三十五錢
小瓶 二十五錢

○せんしんたむし○なます○せにがさ○いんきんたむし○しらくも○くさかぶり○みずがさ○みずむし○ひせんがさ○がんがさ○しもやけ○うるしまけ

其他皮膚病一切に特効あり

右は弊店世に傳ふる處の靈藥にして皮膚病一切に用ひて卓効あり從來此によりて幸福を得たるもの遠近老若に數頗る多し今回大方諸君子の懇請默しがたく材料を精選し較近の醫學に照らし加味調劑を正確にし官許を得弘く世に發賣せんとす世の皮膚病に患める士女願はくは一度本劑を試用し効果の顯著なるを御實驗御高評の程奉願上候

調劑發賣元 韓國京城南部蓚町一丁目浦尾旅館 仁風堂浦尾きち

中元の賣出し

●本日より舊盆まで現金に限り正札より壹割引

●御買上金二圓以上は一割引の外に御添へ物進呈仕候

中元暑中御進物用として美麗函入ハンカチフ石鹼香水メリヤスシャツ類襟飾カウス釦ズボン釣外洋服附屬品帽子洋傘ステッキ其他内外雜貨各種好適品取揃へ居候間多少に不拘御用命の程願上候

和洋雜貨商 京城本町三丁目 池田長兵衛商店 (電話二百〇六番)

營業科目

活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 諸帳簿 製本裝訂

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新鋭ナル機械ヲ設備シ從前ノ通營業致候間倍舊御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話(三三番)

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

中元大賣出し

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

和洋酒、◯の精酢、穀物類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、糸糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣所御望に依り商品切手調進仕候

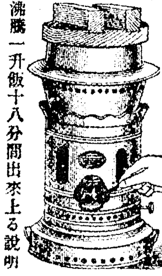
水上商店 (電話二一五番)

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す當場夙に此に留意し好良の食料を給す



京城本町五丁目(電四七番) 販賣元 仁川松尾支店 京城東四軒町(電七五番) 搾取所 松尾牧場

●當場搾取の牛乳を受飲せらるゝ御諸君の滋養に適す[illegible]牛乳を御用[illegible]るべし

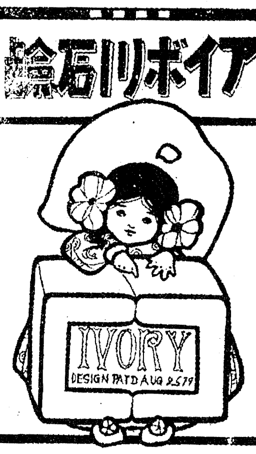


萬天下に大好評を得たる專賣特許は又々一大改良
油厨爐 東京小原式石油厨爐

「マッチ」一本にて瞬間の如く僅に一分も要せず點火し直に使用し「ホヤ」取り外さず大掃除して最も無煙無臭にして魚肉を燒く等煮沸、料理を起し即座に用ふ強熱一般の飯湯時間の石油消費三勺一升の水七分間沸騰一升飯十八分間出來上る說明書申込次第送呈

代理店
京城本町三丁目
辻清和洋金物店
(電話九五九番)

浮石鹼の元祖



文明の家庭に愛用せらる、經濟的唯一の石鹼

各地小賣店に在り

日本帝國政府 韓國統監府 特許

醬油早造法分權

本邦人の在韓するもの日に増加するに伴ひ製造業の必要を促すもの續々を屈すれば先づ醬油釀造業たること何人も首肯する所ならん醬油は人生の日用物今や在留人の年間需用は三萬石を要求し韓人又嗜好の傾向ある本品にして今尙ほ多くの供給は本邦より輸入し運搬其他の費金は悉く加算せられて醬油賣價の不廉なる皆人の知る所なり

抑醬油は大豆小麥鹽を原料として醱酵せしめ其主成分を溶化せしめ搾取するものなり其原料は韓國内に富みて本邦價格に比すれば常に低廉なるをや加之醬油の安物は嗜味尠くして定規の鹽量を加ふる能はず爲めに其氣は忽ち「かび」を生じて變味するを常とす然るに多數の漁業者勞働者及韓人にありては比較的安物需用の多き狀態なれば成るべく搾取の新鮮を要するにも拘らず其需用地に於て醸造業開始の續出を見ざるは頗る恨事とする所なり

以上は要するに現今行はれつゝある釀造法が數百年來の舊式にして熟成期の遲鈍なる結果地所建家仕込器具の擴大なる設備を要するに起因するならんか

余が發明する所の釀造法は日本帝國政府及韓國統監府の特許にして主こして熟成期を短縮(殆んこ十分一)して一層佳良の醬油を製出し然かも莫大の設備を要せず作業簡易にして且つ安全なる事は余が數年の實驗こ内地にて分權せし百數ケ所の釀造家の事蹟に徵して明確なる所なり今回韓國内土地に制限を設け區域分權を成しせ併して其釀造法を傳授すべし分權企望の方は下名へ御申込可被下候也

○釀造模範所に自宅釀造所にあり分權企望の方は豫約金五圓を添へ御申込あれば縱覽に供す

○分權規定書及說明書は郵券三錢醬油見本は郵券三十錢添へ申込あれば郵送す

山口縣防府町三田尻 柏木幸助

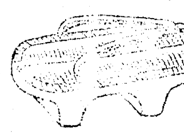
營業科目
農具 農書 種苗 家禽 家畜

秋季 營業案内 (無代進呈)

◎右御入用の向はハガキにて御申込あれ

東京 内藤新宿 日本種苗株式會社

本店東京



東京

京城大和町一丁目の出橋際 大和屋

正札付 大安賣

一厘も引なし 安心して買へ升

藤井出張店 電話二〇五番

明治廿年七月創立●京城代辦店 本町四山口吳服店 電話九番

資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

東京火災 海上 運送 保險株式會社

會員募集

彰義隊愛澤一座にて開演中の彰義隊も今回御贔負連の御進めに依り細く永く皆様の機關として行末永く御滿足を充さん者と彰義隊と協議の上へ常興行として奇抜なる御題を撰定登場して其上左の如き驚天動地の方法を以て至極輕便にして安直なる御觀劇の出來得る樣に致したれば何卒觀劇員となりて益々御引立を垂れ給わらん事を祈る

第一回彰義隊歌舞伎座觀劇會員

一等 金參圓也 (御一人樣三十日間に何時にても棧敷代と木戸錢も入らずに見るのが)
同樣 二等 金貳圓也
女夫券 一等 金四圓五拾錢 (御二人連れ(男女各一人宛)で三十日間何時でも木戸錢も棧敷代も入らずに見るのが)
同樣 二等 金參圓也

會員數に制限あり賣り切れざる内に至急御申込みあれ市内各所に取次所あり

旭町 歌舞伎座



美術書畫 襖、壁、天井張

京城壽町一丁目 桂萬吉

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニャ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジャ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話架設中

精實を旨こし大勉强仕候也

宮内省 博物館 御用

古今美術 書畫表裝 金銀屛風襖洋式天井張

表具師 壽町二丁目 松月堂 電話千三番

●毎日午後 消閑之淸遊

開會諸君子陸續御臨を賜へ

京城明治町一丁目 京城碁會 (大和湯前〇万隣)

市中之仙境

日本郵船株式會社 仁川 瀛船出帆廣告 電話三十番

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月二十九日午後三時出帆

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月九日正午時出帆

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 八月十七日午前四時出帆

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月廿六日正午

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 神立丸 八月十八日午後出

注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月分拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲四號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 楓久神一郎
發行所 京城西四軒町 京城新報社 電話六六三番